

第3章 全体目標

1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 ～がんを知りがんを予防する～

がんを予防する方法を普及啓発するとともに、科学的根拠に基づいた施策を実施することにより、がんの罹患者を減少させること。また、県民が利用しやすい検診体制を構築し、がんの早期発見、早期治療を促すことで、効率的かつ持続可能ながん対策を進め、がんによる死亡者を減少させることを目標とする。

2 患者本位のがん医療の実現 ～適切な医療を受けられる体制を充実させる～

がん医療の質の向上、それぞれのがんの特性に応じたがん医療の均てん化[※]・集約化及び効率的かつ持続可能ながん医療を実現することを目標とする。

※「がん医療の均てん化」とは、全国どこでもがんの標準的な専門医療を受けられるよう、医療技術などの格差の是正を図ることを指す。地域における医療機関の役割分担の見直し、がん医療専門の医療関連職種育成、医療機関の連携などを図り、患者が望む時期に適切な医療を受けられるような環境整備が必要とされている。

3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築 ～がんになっても自分らしく生きることのできる地域共生社会を実現する～

がん患者が住み慣れた地域社会で生活をしていく中で、必要な支援を受けることができる環境を整備する。関係者等が、医療・福祉・介護・産業保健・就労支援分野等と連携し、効率的な医療・福祉サービスの提供や、就労支援等を行う仕組みを構築することで、がん患者が、いつでもどこに居ても、安心して生活し、尊厳を持って自分らしく生きることのできる地域共生社会を実現することを目標とする。